

● 公共施設再編（案）について（抜粋）

土井：今回、案になって、南中学校跡地に市民活動センター、老人福祉センター楠風荘、福祉コミュニティセンター、教育文化センターの移転を予定されていますが、なぜ市民総合センターを外したのか、教えてください。

行政：耐震化が行われていない施設で安全性を確保するため今回の案に記載した。市民総合センターは市との異なる意見が数多く市民方々から、また議会等からいただいたので、この短期部分の前期に当たりますこれから以降、計画策定以降5年間の中で検討をさせてもらいたく、そのような内容とした。

土井：行政が示していた施設の集約化という考え方と逆行していると思うのですが…

行政：集約化に関しては、財政面というところから4割を今後削減していかなければならないというような観点で、以降、まだ決定していないが、個別施設計画策定を行った後の議論の中で、そういった集約化を市内各所において行う。

土井：計画案を見ますと、南中学校の跡地の整備方針に、JR片町線以東・国道163号以南の地域に避難所を確保するため、防災機能を有した複合施設を整備すると記載していますがそれは間違いないですか。

行政：その通りである。

土井：3,800㎡の施設が必要という根拠を教えてください。

行政：四條畷市地域防災計画に基づく数字

土井：本市の地域並びに市民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的に計画されたもので間違いはないですか。

行政：その通りである。

土井：四條畷市地域防災計画というのは、何という会議体で計画を策定されておられるのか、お答えください。

行政：四條畷市防災会議で定めている。

土井：防災会議の開催年度と会長名を教えてください。

行政：平成29年に開催。会長は東修平市長。

土井：その前に開催された年度と会長名を教えてください。

行政：平成25年に開催。会長は土井一憲前市長。

土井：現在地域防災計画に示されている避難所収容人数は平成25年改訂したときのもので平成29年に改訂しなかった理由はなぜでしょうか？

行政：平成29年改定時にはそういう意識には及んでいなかった…

土井：一番大切にしなければならない市民の皆様の安全の確保、こういうところの意識が欠落していると思います。今後地域防災計画を修正するときにはキッチリと修正されるつもりはありますか？

行政：次回の修正時には、各施設管理者と協議しながら、修正はしていく。

土井：現在の南中学校の築年数を教えてください。

行政：築47年経過している。

土井：鉄筋コンクリート造は税制上の耐用年数は47年ですが47年＝寿命ではないと思いますがその考え方に誤りはありますか？

行政：日本建築学会の建築物の耐久計画に関する考え方から、60年程度は使用できるものとされている。

土井：旧南中学校の耐震工事はいつ行われましたか？

行政：平成21年に校舎・体育館とも耐震化を行った。

土井：9月議会で突如他の知見を示されたわけですが、そこには旧南中校舎は断層より18メートル離れており、かつ耐震補強時のIs値が0.7以上あるので、校舎については活用可能、東側の校舎についても活用可能とまで記載されていると思います。9月議会の私の質問に対し、西側校舎については活用可能という答弁をされましたが、東側校舎についても利用できるということでしょうか。

行政：西側の校舎に意識が寄り過ぎたもので、誤解を招くような答弁となったことにつきましてはおわびします。

土井：新規施設を建設されようとしておりますけれども、単純計算でどれくらい建設費用がかかるのか教えてください。

行政：13億6,800万円を見込んでいる。

土井：議論が進まないまま拙速に多額のお金をかけて4つの施設を配置するのはいかがなものかと思えます。また、南中学校跡地が活断層から一定距離を離して強固なものを作れば安全だという知見もあることから中長期的な視野のもと、将来学校教育施設のために必ず必要な時期が私は来ると思っています。だからこそ、今、早急にほかの施設を持ってくるのではなく、財政的観点から見ても13年程度利用できる旧校舎を利用し、その後の利用用途については慎重に検討いただくよう強く要望します。

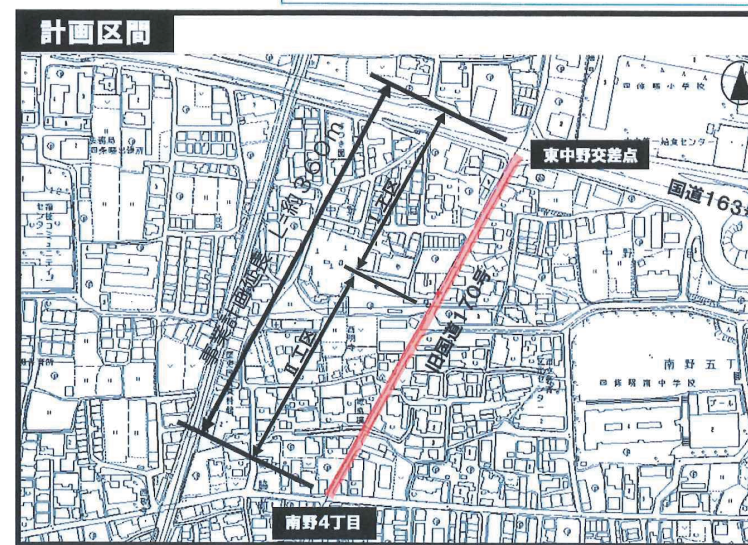
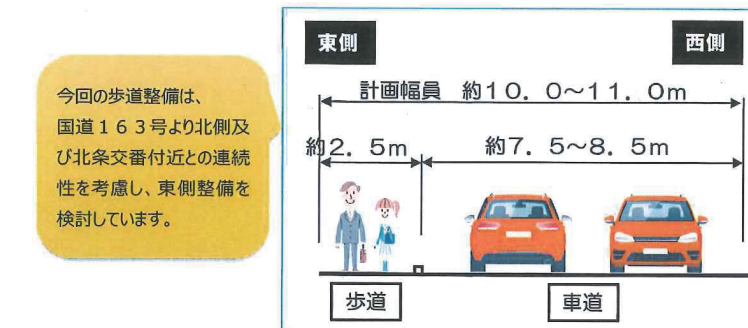
● 旧国道170号について（抜粋）

土井：公共施設の再編の資料の中で、市長が、「第5回公共施設等総合管理計画推進本部で旧国道170号拡幅は本市にとって非常に安全性を高める意味があります。南中学校跡地が施設の集約地となることを見越し、大阪府も旧国道170号を拡幅していく方向性に同意してもらっているので、ここが体育館だけとなれば、大阪府も拡幅する理由を失ってしまう」とおっしゃってますけれどもここが体育館だけとなれば、この事業は進まないのでしょうか。

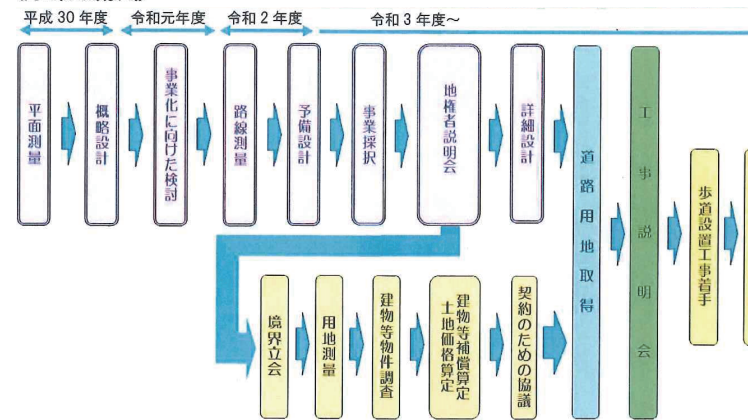
行政：そのようなことは無いとの認識。

土井：平成27年に橋本府議会議員と土井前市長との協力のもと市民の安心安全のために大阪府へ要望し進んで来たものでしょうかと進めて下さい。

《計画概要》



《事業の流れ》



● 登下校時の安全対策について（抜粋）

土井：小中学生の登下校時の安全対策ということで、まず行政としてどの程度、児童生徒の登下校時に不審者情報というものが警察から入ってきているのか、お尋ねしてよろしいでしょうか。

行政：平成30年度で子どもを含む他の犯罪等を含め155件。

土井：教育委員会に直接入ってきていることもあると思うんですけども、その数というのはどの程度入ってきてますか？

行政：平成30年度で21件。

土井：最近私の耳にも、小学校付近で不審な人がうろろしているという情報があり何とかしてほしいんだという話も結構いただきます。やはり子どもたちが何かあってからでは遅いと思います。子ども110番運動に協力いただいている件数をお尋ねします。

行政：2019年4月末日現在757件。

土井：数字の増減状況はどうなっていますか？

行政：695件、731件、757件と年々増加傾向にある。

土井：私の実感としては年々減少しているような印象があります。実際はどうでしょう？

行政：757件については今現在も存続しているという状況にあるが、旗自体が朽ちていたり破損したりという状況は現状十分には把握できてない状況。

土井：そこを把握する気はないですか？

行政：学校の方では、一定どの場所にどのの方が登録頂いているかというのは把握しており、今回を機に把握することは可能かなと考える。

土井：子ども110番というのは防犯の意味合いもあると思います。だからこそこの運動というのは今後も非常に重要な役割を担っていくものだと思いますので、先ほどご答弁いただきましたように、どこに設置されているか把握されてるのであれば、その辺を今後精査のうえ子どもたちのために進めてもらいたいと思います。

● 小学校統合による通学路について（抜粋）

土井：東小学校と畷小学校の統合による通学路の安全対策をどのような形で行うのか、教えてください。

行政：防犯灯、防犯カメラ、カーブミラー、看板、安全コーン、グリーンベルト、横断歩道の新設、路面改良、路面表示等行う予定。